農業版BCP（事業継続計画）

＿＿＿＿＿＿は、自然災害や事故が起きたときに何を優先して守り、どうやって経営を再開するかを、この計画に定める。

1　基本方針

災害のときは、次の方針で行動する。

1 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

2 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

3 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

2　想定する災害

市町村のハザードマップと、これまでに地域で起きた被害をもとに、

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

3　最優先で再開する業務と目標の時期

災害のときは、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿を最優先で再開する。再開の目標は＿＿＿＿＿＿とする。

4　ライフライン・施設が使えないときの代わりの手段

- 停電したときは、

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

- 水が止まったときは、

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

- 電話・ネットが使えないときは、

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

- 道路が使えないときは、

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

・ ハウス・圃場・畜舎が傷んだときは、

※「影響 → 代わりの手段」の順に書きます。強風に備えて被覆フィルムを切って取り除くときは、事前に農業共済に連絡します。

5　人・物・お金・情報の備え

・ 人（安否確認・避難・欠員）

・ 物（機械・資材・飼料）

・ お金（手元資金・保険）

・ 情報（記録・連絡先）

※ お金の欄には、災害時に使える融資の相談先も書きます。連絡先は「緊急連絡先」の表にまとめます。

6　緊急時の体制と初動

災害のときの責任者は＿＿＿＿＿＿とし、責任者が不在のときは＿＿＿＿＿＿が判断する。

発生から24時間の初動は、次の順に行う。

出勤と帰宅は、次のとおりとする。

7　備蓄

8　見直しと訓練

この計画は＿＿＿＿＿＿に家族・従業員と共有した。次の見直しは＿＿＿＿＿＿に行う。

＿＿＿＿＿＿

経営体名 ＿＿＿＿＿＿

責任者 ＿＿＿＿＿＿

※ 作ったら家族・従業員と共有し、共有した日と次に見直す日（年に1回が目安）を書きます。

自然災害などのリスクチェックリスト

確認した日＿＿＿＿＿＿　確認した人＿＿＿＿＿＿

区分	確認すること	はい	いいえ	いいえのときの対応と期限
リスクを知る	自分の圃場・ハウス・畜舎・倉庫の場所を、ハザードマップ（浸水・土砂災害）で確かめた			
リスクを知る	過去に自分の地域で起きた災害（大雨・台風・大雪・地震）と、そのときの被害を知っている			
平時の備え	気象・防災情報を受け取る方法（防災アプリ・市町村のメールなど）を決めている			
平時の備え	ハウス・畜舎・乾燥施設などの傷みを点検し、補修している			
平時の備え	排水路・明きょを点検し、ごみや土砂を取り除いている			
平時の備え	停電に備えて発電機などの非常用電源と燃料を用意し、動くか確かめている			
平時の備え	機械を浸水から避難させる場所（高台・屋内）を決めている			
保険・資金	収入保険や農業共済（作物・園芸施設・家畜）の補償内容を知り、加入している			
保険・資金	建物・機械・保管中の農産物の保険（共済・民間）の補償内容を知っている			
保険・資金	復旧までの運転資金（手元資金・融資の相談先）を考えている			
直前の備え	飛ばされそうなコンテナ・資材を片付け、燃料タンクやボンベを固定した			
直前の備え	収穫できるものを早めに収穫し、収穫物を安全な場所に移した			
直前の備え（施設）	被覆材の破れ・緩み、留め具のさびを点検し、応急の補強をした			
直前の備え（施設）	耐えられない強風が予想されるとき、被覆フィルムを切って取り除く前に農業共済に連絡する手順を確かめた			
直前の備え（畜産）	停電・断水のときの給水・換気・搾乳の方法と、飼料の在庫を確かめた			
事業を続ける	災害のときに最優先で再開する業務と、再開の目標時期を決めている			

区分	確認すること	はい	いいえ	いいえのときの対応と期限
事業を続ける	家族・従業員の安否確認の方法と避難場所を決め、共有している			
事業を続ける	人手が足りないときに応援を頼める人（近所の農家・JAなど）がいる			
事業を続ける	資材・飼料・燃料が手に入らないときの代わりの手段を考えている			
事業を続ける	取引先・関係機関の連絡先を、紙とスマホの両方に控えている			
事業を続ける	被害を写真と記録で残す手順（片付けの前に撮る）を決めている			
事業を続ける	責任者が不在のときに代わりに判断する人を決めている			

「いいえ」の項目は、いつまでに何をするかを右の欄に書き、この計画の該当する項目に反映する。

災害時の緊急連絡先

更新した日 _____

連絡先	担当者・部署	電話	つながらないときの連絡方法	番号（証券・契約・組合員番号など）
家族・従業員				
市町村（農政・防災の担当）				
農業共済組合（NOSAI）				
JA（営農・出荷・購買）				
取引先				
電力会社・燃料の配達				
ハウス・施設の施工業者				
農機の販売店・修理				
金融機関（日本政策金融公庫・JAなど）				
保険会社（建物・機械・車両）				
近所の協力農家				

見直しの記録

見直した日	きっかけ（定期・災害のあと など）	変えたところ	共有した人

見直した日	きっかけ（定期・災害のあと など）	変えたところ	共有した人